

NNZ-2A (TML-NET用避雷器)

誘導雷による計測システムの故障を阻止

- 測定待機中は自動的にリレーで切り離し、誘導電流を阻止
- ネットワークラインから電源供給
- ネットワークラインの電圧・ネットワークモジュールの電流を監視、異常時に即座に遮断



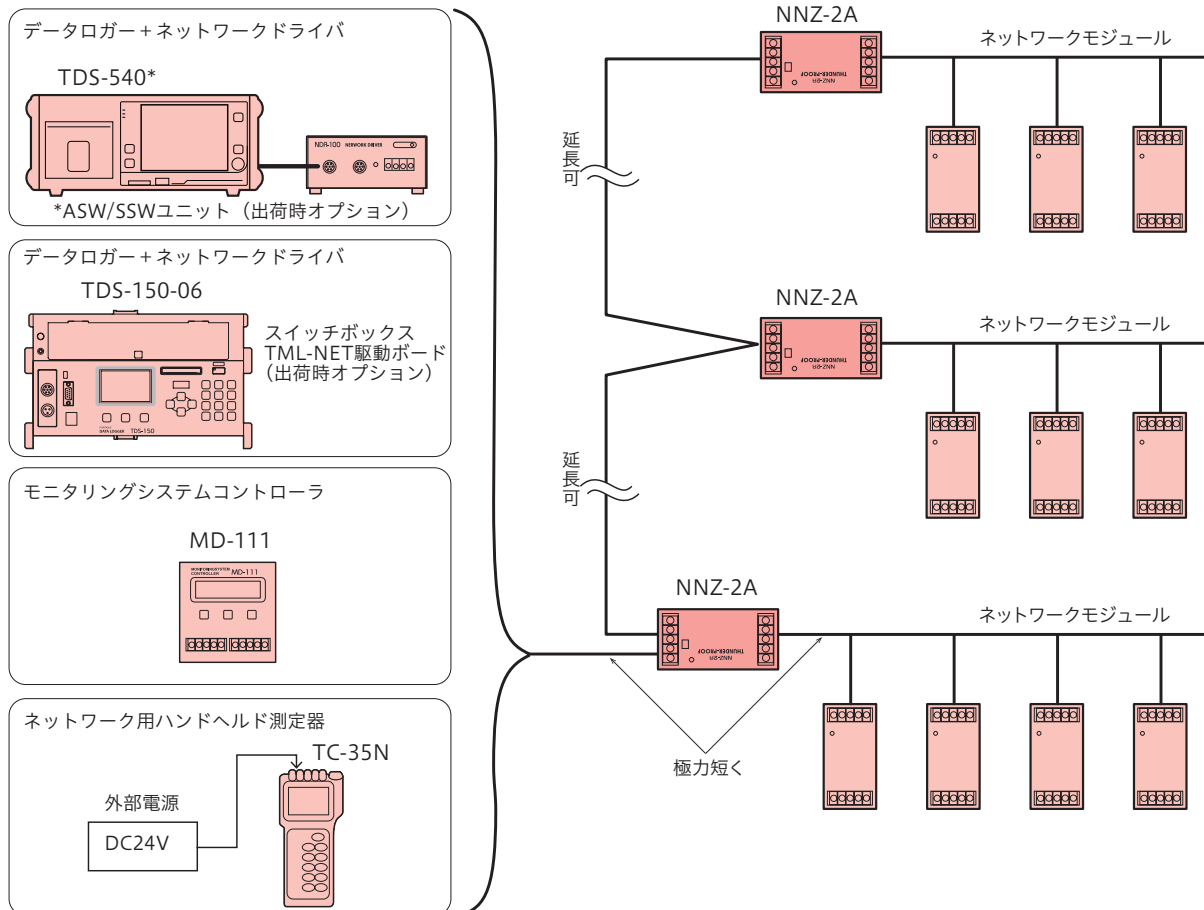
TML-NET用避雷器
NNZ-2A

仕様

サージ耐量	100A (8/20 μ sインパルス)
使用可能台数	NNZ-2A: 10台 低消費型ネットワークモジュール: 100台
定格電源電圧	DC18-24V
標準使用ケーブル	専用2心シールドケーブル 総延長距離: 2km以下(電源電圧DC24V時) 1km以下(電源電圧DC18V時)
表示機能	ネットワークラインの電圧低下 ネットワークモジュールの過電流(過電流で、ネットワークモジュールを分離)
使用温湿度範囲	-20-+60°C 85%RH以下(結露を除く)
外形寸法	50(W)×28(H)×100(D)mm (突起部を除く)
質量	約120g

ネットワーク型計測システムTML-NETを誘導雷から保護するものです。雷の発生しやすい地域で、測定器やネットワークモジュールなどのケーブルに誘導雷を受けると、誘導電流によりネットワークラインに接続したネットワークドライバ、ネットワークモジュールが故障する原因となります。延長するネットワークラインの両端に本器を接続し、測定待機中になると、ネットワークラインを自動的に切り離し、ネットワークラインが誘導雷を受けたとき誘導電流を阻止し、ネットワークドライバ、ネットワークモジュールを保護します。

システムブロック図



※ TDS-150、MD-111は、AC電源アダプタを使用